

日・米・アジアの業界動向をふまえた

動物用医薬品の市場展望と販売・開発戦略

◎市場規模の現状と成長性はどのくらいあるのか？

- ・飼育頭数・飼育環境・疾患の推移、データを元に具体的に解説！
- ・ヒト医薬品、輸入薬はどのくらい処方されているのか？ 承認取得すべき薬剤とは？

◎診療現場ニーズ／薬事規制対応／研究開発手法を学ぶ！

- 日時:平成22年8月31日(火) 10:30~16:00
- 会場:[東京・王子] 北とびあ 8F 804会議室
- 聴講料:1名につき 52,500円(消費税込、昼食・資料付)

- 講師:《第1部》東京農工大学大学院 農学研究科 獣医内科学教室 教授 岩崎利郎氏(前動物診療センター長)
- 《第2部》千葉科学大学 薬学部 比較動物薬学研究室 教授 田中紀子氏(元第一三共)
- 《第3部》(有)アームズ 取締役社長 氏政雄揮氏

第1部:ペット・動物用製品における日本・アジア市場の展望と開発／販売最新動向 《10:30~12:00》

【主旨】アジアとくに日本国内の犬と猫の市場概況、獣医学領域、各個別の業界を紹介するとともに、新たにこれら国内市場に参入するのに必要な研究開発、販売、広告宣伝に必要な情報を提供する

- | | |
|--|---|
| <p>1. ペットとくに犬と猫の関連市場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬と猫の飼育頭数、犬種ならびに飼育環境の変遷 ・動物病院の概況 ・犬と猫の疾患の推移 ・アジアにおけるペット飼育状況および獣医薬界 <p>2. ペットに関連する国内業界の概況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペット関連市場の概況 ・動物用医薬品 ・ペットフード ・サプリメント ・ペット保険 ・臨床検査 ・情報関連 ・美容関連 | <p>3. 国内ペット市場にどのように参入するのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発:GCP, その他の法令 ・研究開発:前臨床試験および臨床試験委託会社(CRO) ・研究開発:各獣医科大学の専門性と試験委託の可能性 ・販売:動物薬販売会社の現状、販売に関わる改正薬事法などの法令 ・広告宣伝:獣医学関連各学会の特徴、獣医出版業界 |
|--|---|

第2部:日米の二次診療施設における未承認薬(ヒト医薬品、輸入医薬品)使用の現状と規制動向 《12:40~14:10》

【主旨】大学病院等の二次診療施設においては処方薬剤の多くをヒト医薬品、輸入医薬品等の未承認薬がしめている。これら処方情報の活用を図る試みと日米の規制動向について紹介する

- | | |
|--|--|
| <p>1. 国内二次診療施設(大学病院等)で用いられている薬剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果概略 ・新薬採用体制 ・薬剤採用根拠情報 <p>2. 海外清書にみる未承認薬掲載状況</p> <p>3. 国内清書にみる未承認薬掲載状況</p> <p>4. 未承認薬の情報提供と情報の流れ</p> <p>5. 海外・国内における未承認薬規制</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・The Minor Use and Minor Species Animal Health Act ・Expanded Access to Investigational Drugs for Treatment Use ・動物に用いられる人用医薬品の人用医薬品卸販売業からの販売について ・薬事法に基づく
医薬品の使用の禁止に関する規定の適用を受けない場合を定める省令 ・動物用医薬品等の範囲に関する基準について <p>6. 処方履歴の解析による未承認薬情報</p> |
|--|--|

第3部:動物用医薬品業界の現状と将来展望 《14:30~16:00》

【主旨】長く続く「ペットブーム」という言葉や、全体で1.1兆円という市場規模が一人歩きしているが、その実情についてはよく理解されていない。日本の獣医療を支える動物用医薬品現状と将来について、データと実例を用いて解説する。

- | | |
|---|--|
| <p>1. 動物用医薬品に関する法規制</p> <p>1) 薬事法 2) 食品衛生法 3) 飼料安全法 4) ペットフード安全法</p> <p>2. 動物用医薬品・動物病院向けペットフードの市場規模(現状と成長性)</p> <p>1) 産業動物分野(牛・豚・鶏・馬) 2) 小動物分野(犬・猫)</p> <p>3. 動物用医薬品の製造・流通に関する近年の大きな変化</p> <p>1) 製薬会社(外資・国内) 2) ディーラー 3) 小売・ネット販売</p> | <p>4. 獣医師による薬効別の動物薬と人体薬の使い分け</p> <p>1) 薬効別の動物薬と人体薬の使用割合</p> <p>2) 動物薬の改善すべき点(例) 3) 人体薬に対する要望(例)</p> <p>5. VICH(動物用医薬品の承認審査資料の調和に関する国際協力)の進展と規制緩和</p> <p>6. 今後の動物用医薬品の有望分野と新規参入企業に求められること</p> |
|---|--|

「アニマルヘルス」* セミナー申込書* No.008172* 8月31日 (講師紹介 15,750円割引)

会社名	〒	事業所 事業部	講師からの紹介割引として、1名につき15,750円割引いたします。 2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。 申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
住所	TEL	FAX	
所属部課 役職名	氏名(フリガナ)	e-mail	ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師の方へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、次のURLをご参照ください。 http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)			〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目29番5号日幸五反田ビル8F 技術情報協会 FAX 03-5436-5080 TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD. [申込専用]